

地域・環境・社会貢献レポート 2014



生活協同組合パルシステム山梨
<http://www.palsystem-yamanashi.coop>

心豊かなくらしと共生の社会を創ります

パルシステムグループの理念

パルシステム山梨の理念

愛・夢・輝き

組織概要

名称

生活協同組合パルシステム山梨

設立

1962年4月「山梨県労働者生活協同組合」が設立
1992年4月「山梨県労働者生活協同組合」「山梨県郡内労働者生活協同組合」が合併し、「生活協同組合コープやまなし」設立
2009年8月「生活協同組合パルシステム山梨」に名称変更

本部所在地

〒400-0051山梨県甲府市古上条町225-1

理事長

白川 恵子

専務理事

志村 宏司

職員数

166人(正規職員54人/定時職員112人)

※職員数値は2014年3月31日現在



次世代認定マーク「くるみん」取得

「くるみん」とは、子育て支援のための行動計画（一般事業主行動計画）を策定・実行し、認定基準を満たした企業が、申請を行うことにより都道府県労働局長の認定を受けることができるものです。

パルシステム山梨では県内では初めてとなる2回目の認定となっております。

事業概要

2013年度実績

供給高：59.8億円

出資金：19.1億円

組合員数：47,181人



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
組合員数(人)	32,147	34,645	37,716	39,740	42,204	42,067	43,860	45,008	45,119	46,632	47,181
事業高(千円)	5,267,290	5,333,741	5,583,226	5,872,061	6,069,042	6,213,821	6,078,299	5,974,388	5,969,642	5,914,654	5,986,564
出資金(千円)	931,917	1,044,068	1,157,872	1,260,655	1,383,534	1,461,642	1,555,325	1,658,715	1,741,128	1,835,827	1,911,143

西桂センター開設/東日本大震災復興支援

西桂センター

2014年度3月、富士五湖センターを移転し、新たに西桂センターを移動いたしました。
今後も地域に密着したセンターとして、地域になくてはならない存在として発展して参ります。



開所式には、行政・施行関係者・生協関係者・近隣の皆様など多くの方にご参加いただきました。

西桂センター主な環境設備

- 1.太陽光発電
- 2.小型風力発電
- 3.雨水利用
- 4.井戸
- 5.太陽熱温水器/高効率ガス給湯器
- 6.自然採光利用
- 7.ペレットストーブ

その他にもLED照明や通路の一部に県産材を使用しており、環境配慮型のセンターとなっております。



東日本大震災復興支援

◆福島保養プログラム

パルシステムグループでは組合員より「福島のごどもたち保養プログラム」カンパをおこない、多くの支援が寄せられています。パルシステム連合会の会員生協では、福島のごどもたちを受け入れ、交流する保養プログラムの取り組みをおこなっています。



パルシステム山梨でも2013年8月に「富士山を眺め！山梨の夏を満喫しよう」と題し開催。山梨の夏を楽しんでいただきました。

◆福島視察研修

2013年10月、パルシステム山梨の役職員で、東日本大震災からの復興取り組みや現状を伺い、連携や取り組みを考える機会とするため、同じパルシステムグループの「パルシステム福島」、独自商品取引先の「相馬はらがま朝市クラブ」を訪問しました。



◆県内避難者対象の手数料免除制度

東日本大震災により、山梨県内へ避難された方を対象に、申請から1年間の手数料免除の制度を行っています。

事業(宅配など)を通しての地域・暮らしへのお役立ち

地域の見守り

月曜～金曜の配送で、毎日70台以上のトラックと、30台近くの営業車が県内各地を回っていることから、その中で高齢者や困っている方のお力になれることもあります。

2014年3月までに県内14の市町村と見守り協定を締結し、行政との協力関係を築きました。



業務担当者向けに救命講座(普通救命講習I)と認知症サポーター養成講座を開催し、知識の習得を計りました。



今後とも各市町村との連携をはかり広く地域の安心・安全に貢献し、生協の社会的役割を発揮していきたいと考えています。

CO · OP 共済

組合員の暮らしを保障の分野でサポートする仕組みとして、パルシステム共済連合会、日本コープ共済連合会を引受団体として、CO・OP共済を取り扱っています。

給付や風水害への見舞金など直接的なお役立ちの他、健康増進などに広く役立てるための「たすけあい活動助成金」も始まりました。

* 2013年度助け合い活動助成金活動（一部）

- 健康維持、促進を目的に「温泉活用術」イベントを開催。
- 教育資金をテーマにくらし井戸端会の講座を開催。
- 「くらし見直し講演会」。高齢化社会の中でのひとり暮らしの高齢者の現状と地域が携わる医療などのシステムについて。
- 「エンディングノート」をテーマに組合員学習会を開催。

法人利用

2007年の生協法改定により、長年、食の安全を追及する先駆的な存在であることや地域の格となって福祉事業に取り組んできた生協活動が高く評価されたことにより、法人向け供給(員外利用)が一部認可されました。それに伴い、パルスシステムでも法人向けの商品供給事業を開始しています。



法人利用対象施設（例）

幼稚園・保育所・学童保育・児童館などの教育文化施設、
児童福祉・厚生施設、子育て支援施設

養護老人ホーム、特養老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービスセンター、有料老人ホーム、介護老人保健施設などの
高齢者福祉関連施設

2013年度には県内登録数85団体になり、給食やおやつ等でパ
ルスシステムの食材をご利用いただいておりますが、同時に食の安
や食育に非常に努力されている法人がとても多いことに気づか
されています。特に食物アレルギーの児童が増えたことにより、
アレルギー専用カタログ“ぶれーんべいじ”のご要望も多く、給
食現場で多様な対応食が利用できるようになり、アレルギーの子
どもたちがうれしそうに給食を食べてくれるようになったとい
ううれしいお声もいただいております。また、パルスシステムなら
ではの食育サポートや劇団、出前講座等のツールを提供し、食材
だけにとどまらず、法人の日ごろの活動がより充実するようなお
つきあいも実施し、大変喜ばれております。



産直(産地直結)と食の安全

パルシステムの産直

産地と直結し、「作り手」と「食べ手」が育てあう「産直」を目指しています。

産直が目指す四原則

- ①生産者・産地が明らかであること
- ②生産方法や出荷基準が明かで生産の履歴がわかること
- ③環境保全型・資源循環型農業を目指していること
- ④生産者と組合員相互の交流ができること

◆公開確認会

産地での栽培状況
や生産履歴を組合員・
生産者がともに確認
しあう「公開確認会」
を1999年より行って
います。



2013年11月には
北杜市の産地「白州森
と水の里センター」で開催しました。

生産者団体からの取り組み報告や圃場視察を行いました。畑を見ながら直接生産者からいろいろな話を聞くことや、栽培履歴等の帳票類をもとに出荷基準を確認することにより、産地の苦労や生産者の安全な農産物を組合員に食べて欲しいという真摯な姿勢を知ることができました。

産地との交流

産地と様々な交流を行っています。(一部)

- ・秋田県大潟村、大潟村産直会オーリア21との相互交流(収穫祭など)
- ・生産者が来県しての料理教室(豚肉、野菜、海産物等)
- ・五町田エコロい「田んぼ塾」。年間通じて田植えから収穫まで家族ぐるみで体験します。生き物観察も行い、田んぼの生態系や、その恵みについて学びました。



食の安心・安全のために

東京都・稲城市に独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査をおこなっています。

また放射能測定は2台のゲルマニウム半導体検出器を使用。検査の結果は、毎週組合員さんにお知らせをおこなっています。

[illegible]

地産地消の取り組み

山梨独自のチラシ『うまい甲斐』では、県内の商品を多く取り扱い、地産地消のニーズにお応えしています。これら独自商品も、放射能や残留農薬の検査などを行っています。検査結果はHP上でご覧いただけます。



大雪產地支援

観測史上最高を記録した2014年2月の大雪では生産者にも甚大な被害を与えました。

パルシステムグループ全体では緊急支援カンパの呼びかけを実施。またパルシステム山梨でも被害が大きい県内の生産者にお見舞金の贈呈や鶏舎・ハウスの撤去のお手伝いを行いました。



地域・活動の支援

人材ネットワークと出前講座

組合員同志の助け合いや教え合いを活性化させる「人材ネットワーク」の仕組みづくりをすすめています。

保育、家事支援、食育、環境、保障・暮らし見直しなど様々なジャンルで組合員に登録いただき、依頼に応じて派遣しています。

その中で、5名以上を対象の「出前講座」には、地域の学童施設や高齢者向け施設からも多くの依頼をいただいています。

【講座例】

- 手すきハガキづくり
- 自然派お掃除
- 豆腐づくり
- 体にやさしいおやつ作り
- 手作りチーズを作ろう
- おこづかいゲーム



劇団ぽるぽる

パルシステム山梨の想いや取り組みを楽しく表現し、伝える方法の1つとして、組合員と役職員で「劇団ぽるぽる」を結成し、イベントなどで公演を行っています。

昨年度は日本の田んぼをテーマにした「環境戦士パルレンジャーKOZI-R」を製作。子どもたちに喜んでもらいました。



キッズフットサル大会

子ども達の活躍の場、スポーツ文化支援として、8歳以下対象のフットサル大会を毎年開催しています。

2013年度は県内7団体(8チーム)、選手80名が出場しました。



市民活動助成金

2002年度より、地域の活動が活発に行われ、元気に明るく楽しい暮らしを願い、地域貢献の取り組みとして「市民活動助成制度」を実施しています。これまで100を超える団体へ総額2000万円以上の助成を行っています。

【2014年度助成団体】

- ・コミュニティカフェ あいりす
- ・サニースマイル
- ・山梨子どもの本研究会
- ・自殺予防ネットワーク山梨
- ・ピア・コミュニティ nukunuku
- ・都留水みず探検隊
- ・北っ子応援団
- ・よりみちアート
- ・女性の人権サポート・くろーばー
- ・多文化社会の保健医療を考える会JUNTOS

オープンカレッジ

組合員はもちろん、地域の方も学べる場として2007年からオープンカレッジを開講。2013年8月には食の映画祭の上映を行い、2014年3月には食の講演会を開催しました。



ヴァンフォーレ甲府への支援

地元のプロサッカーチーム「ヴァンフォーレ甲府」へは、「存続の危機」といわれた2000年から支援を続けています。現在もピッチ看板や選手カード作成の他、県内の子ども達も広く関わりを持てる企画として「お絵かきコンテスト」「エスコートキッズ」を行っています。



環境の取り組み/フェアトレード 公正な取引

パルシステムエネルギー政策

パルシステムグループ全体でエネルギー政策を制定し、取り組みを進めています。

減らす

節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費を一層減らします。

止める

速やかに脱原発を実現します。

切り替える

原発への依存に替えて再生可能エネルギーを急速に普及させます。



「協同の力」で生活者がエネルギーを選択できる社会を実現します。

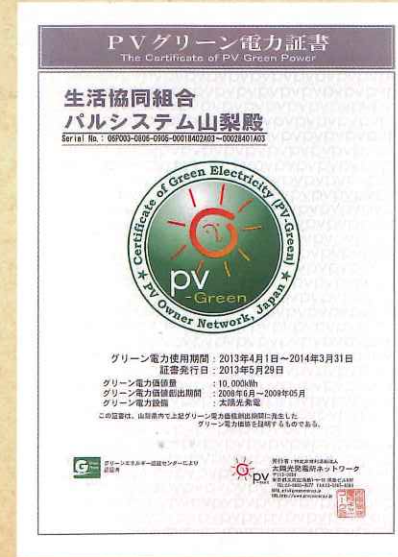
CO2削減に向けて

配送での燃料使用や事業所の電気など、事業活動で排出するCO2の削減に取り組んでいます。

2013年11月には超小型EV(電気自動車)を1台導入しました。これまで使用していた車両に対して、試算では年間で約1トンのCO2削減を見込んでいます。



またグリーン電力証書を購入し使用する電力の一部をグリーン化しています。「地産地消」「地域還元」の考えで、2013年度は都留市の小水力発電、県内の太陽光発電によるものを購入しています。



森林・木質バイオマス関連

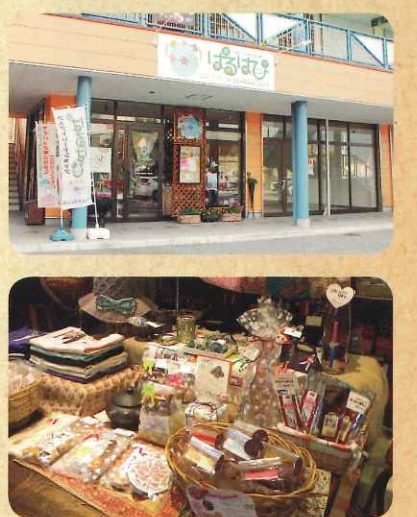
2つのセンターではペレットストーブを導入し、全事業所でコピー用紙は県内の間伐材が使われた「やまなし森の紙」を使用しています。またパルシステムグループでも南都留森林組合と「産直協定」を結び商品開発を始めるなど取り組みを進めています。



フェアトレード 公正な取引

国内でまかなえず海外から輸入している商品は、「フェアトレード(公正な貿易)」でアジアなどから輸入しています。フェアトレードとは、立場の弱い人々が正当な報酬を受け、自立することを目指すしくみのことです。カタログではバナナ、エビ(エコシュリンプ)、フェアトレードチョコレート(冬季限定)などがあります。

より身近にフェアトレードを知っていただきたいという思いから、中央市に店舗「フェアトレードショップばるはび」を開店しております。地域イベントでの出張販売や出前講座なども行っています。



リデュース・リユース・リサイクル

「フェアトレードショップばるはび」ではレジ袋削減の為、マイバックの持参を呼びかけています。

また、パルシステムでは商品の多くに、再利用できる「リユースびん」を使用している事や、紙バックや商品カタログのリサイクルにも取り組んでいます。

リデュース、リユース・リサイクルを推進し、ご家庭や地元行政のゴミ減量・処理費用削減にも貢献しています。

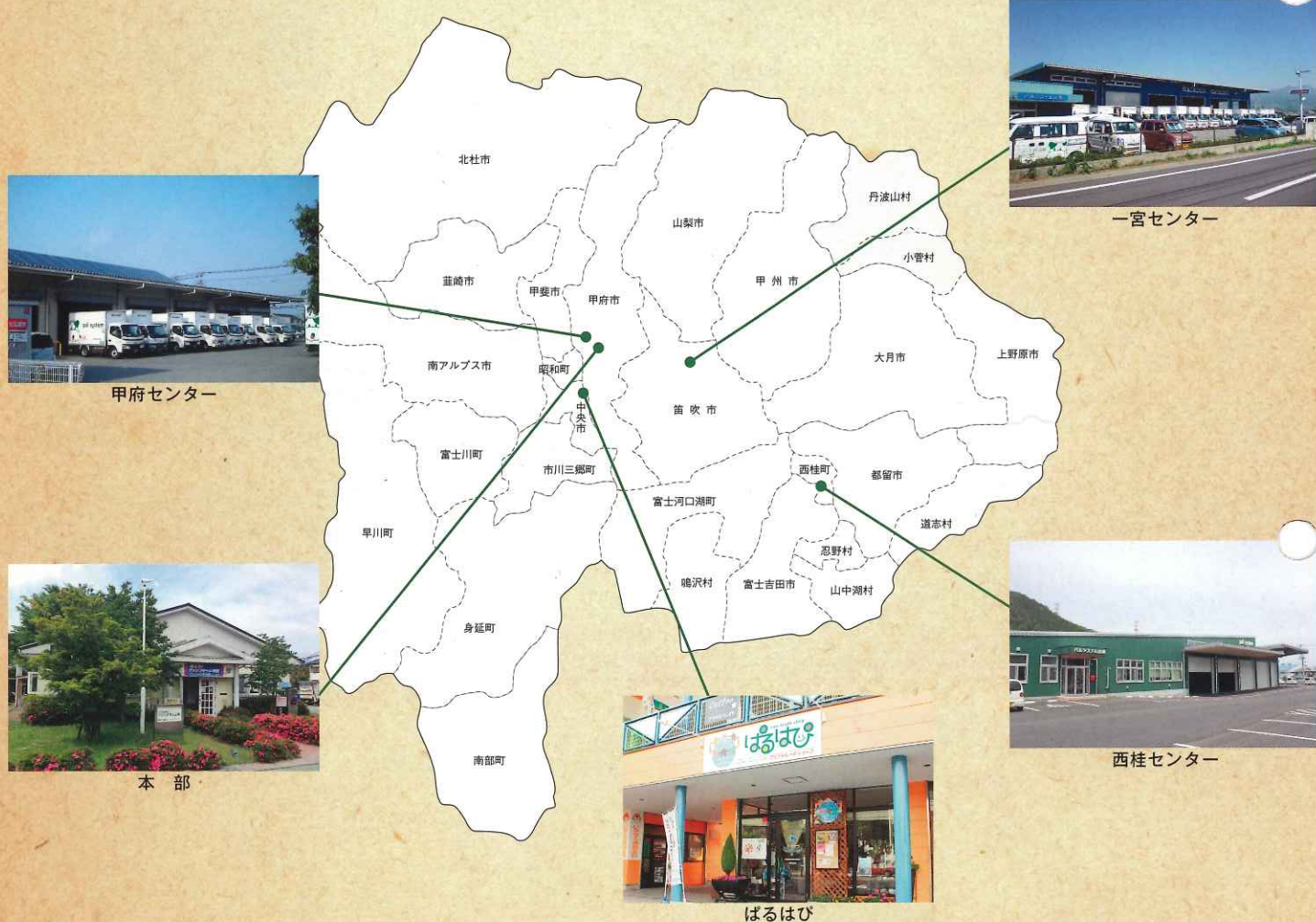


事業所紹介

◆本部	〒 400-0051 甲府市古上条町 225-1	Tel.055-243-6327 Fax.055-243-6359
◆甲府センター	〒 400-0051 甲府市古上条町 428-5	Tel.055-243-4340 Fax.055-243-6329
◆一宮センター	〒 405-0071 笛吹市一宮町北都塚 288-1	Tel.0553-20-5211 Fax.0553-47-4140
◆西桂センター	〒 403-0022 南都留郡西桂町小沼 869-1	Tel.0555-25-3767 Fax.0555-25-3670
◆フェアトレードショップぱるはぴ	〒 409-3803 中央市若宮 29-1 ジョイフルプラザ 1F	Tel.055-274-7766 Fax.055-274-7766

◆ホームページ

<http://www.palsystem-yamanashi.coop>



生活協同組合 パルシステム山梨

パルシステム山梨

検索

地域・環境・社会貢献レポート 2014

発効日■ 2014年6月1日

発行■ 生活協同組合パルシステム山梨

連絡先■ 〒 400-0051 甲府市古上条町 225-1

総務部 運営室 : Tel.055-243-6327/Fax.055-243-6359